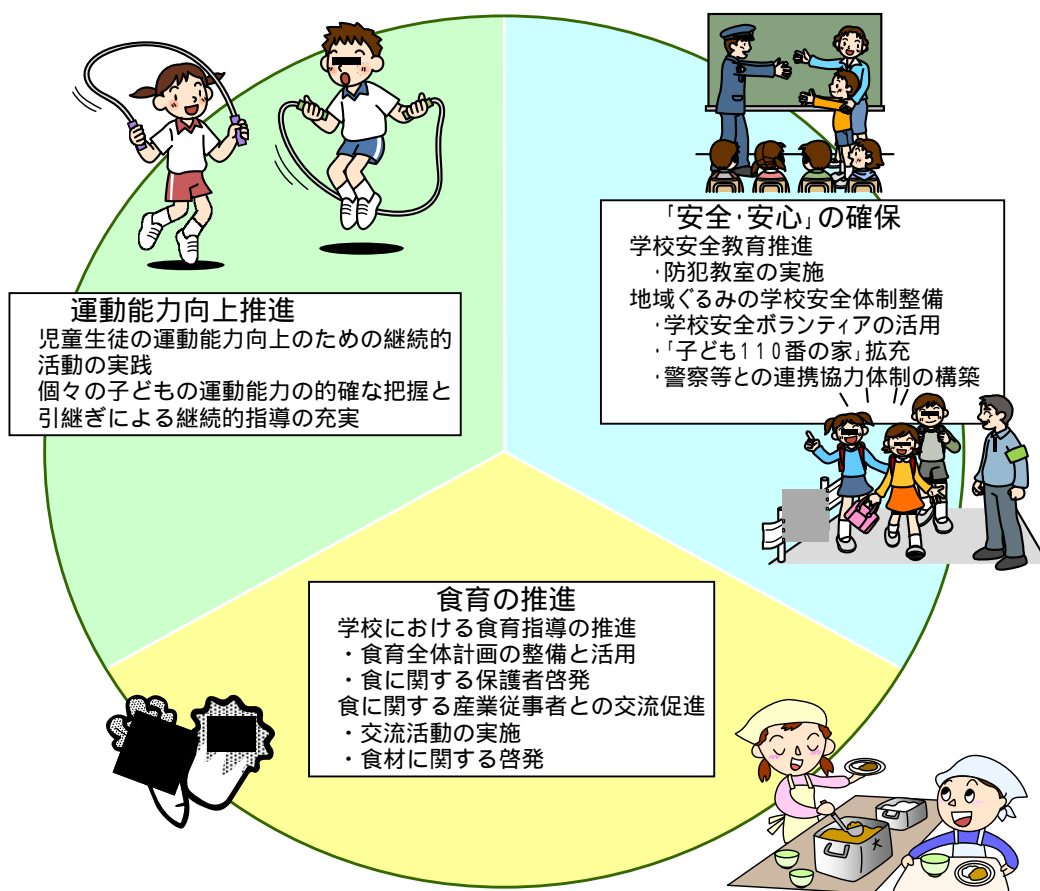


健康維持・安全確保を図る体制の整備・充実

各学校における児童生徒の「安全・安心」の確保に努めるとともに、望ましい食生活と適切な運動の継続によるバランスの取れた身体発達を図る。

児童生徒及び保護者の食に関する関心が高まり、食生活が改善されることで子どもの健康が保証される。
個々の能力等に応じた適切な運動が継続的に行われることでバランスの取れた発達が図られる。
地域ぐるみの学校安全体制が構築され、児童生徒が安心して学ぶ環境の維持が図られる。



朝食抜きや個食、アンバランスな栄養摂取などが児童生徒の生活に影響
食に関する関心や感謝の気持ちなどが不十分
運動不足による肥満や体力低下、健康への影響などが問題
不審者の出没や凶悪犯罪など学校の安全への脅威が顕在化
地域で児童生徒の安全確保を図る体制づくりが必要

指標と年度達成目標

指標	単位	19	20	21	22	23
食育全体計画を作成している小中学校数	校	37	45	55	66	→
学校安全ボランティアを設置している小学校数	校	37	40	43	→	→
運動能力向上に向け継続的に取り組んでいる小学校数	校	34	40	43	→	→